

コラム 身近な危険生物について

ヒョウモンダコ

浅い海の岩や小石が混じった海底などに生息している10cmほどの小さなタコ。刺激を受けると「青い輪や線の模様のある明るい黄色」に変化します。猛毒を持つとても危険なタコです。海水浴や磯遊び、釣りなどで見つけても、決してさわったりしないでください！また、死んでも毒が残るので食べないでください！



興奮した状態



通常の状態

※画像提供:大分県農林水産部 漁業管理課

ヒアリ

体長2～6mmほどの小さな赤茶色のアリで、土で塚(巣)を作って集団で暮らします。刺されるとやけどのような強い痛み



女王アリ



働きアリ

があります。現在、大分市内でヒアリは確認されていませんが、塚を刺激すると集団で刺してくるため、塚を見つけても近づかないようにしましょう！

セアカゴケグモ、ハイロゴケグモ

全体が光沢のある黒色で背中に赤色の模様があります。

お腹や背中部分が真っ黒のものや茶色、灰色、まだら模様のものなどがいます。

どちらも体長7mm～1cmのクモで触ると咬まれることがあります。日本では、主に6月～10月に咬まれる事例が報告されています。毒を持っているので、咬まれたときはすぐに病院へ！



セアカゴケグモ

スズメバチ

スズメバチは攻撃的で強い毒を持ち、刺されるととても危険です。次のことに注意しましょう！また、木や草が茂っているところでは、見えない場所に巣があることがあるので山登りの時などは気をつけましょう！

スズメバチに刺されないためには…

- ①巣には近づかない
- ②なるべく白っぽい服を着る（ハチは黒いものを攻撃する習性がある）
- ③においに気を付ける（ハチのいる場所ではジュースなどの甘いものを飲まない）
- ④ハチが近寄ってきたら手で振り払ったりせず、できるだけ静かに離れる（なるべくハチを刺激しない）

